

株式会社 山崎

明るく正しくそして熱く

提案と技術で本物のものづくりを

株式会社 山崎は、昭和18年創業の70年以上続く木製建具製造の会社。現在は、スライディングウォールをはじめとした「動く×建具」に注目が集まり、47都道府県から幅広く注文が寄せられています。

一見順調そうに見えますが、建具業界全体に大きな影響があったのは、昭和30年代のアルミサッシの登場。当時主流だった「木製サッシ」は、「アルミサッシ」に急速に置き換わり、それとともに住宅から和室が減り、洋室化が進んできました。さらに、建具職人が寸法に合わせて作っていた窓や扉などは、一定の規格品として建材メーカーが販売するようになり、建具業界の仕事は大幅に減少したと言います。

こうした苦境の時代には、山崎でも規格品を作っていたということですが、そこは30人の建具職人が集まる会社。早々に規格品を量産する仕事は取りやめ、本来の木製建具専門で、さらに全国からオーダーを受けることを新たに導入。職人の技術力を活かして、本物のものづくりを目指すことに切り替えたと言います。

そんな山崎で印象に残っている仕事を

を聞くと、挙げてくれたのは重要文化財「赤坂迎賓館」の木製建具の保存修復。

山崎は神社仏閣の修復なども数多く手掛けていますが、文化財の復元には確かな技術が必要で、新たなものを作るよりも

難しいのだとか。職人の技術力の高さが証明されたお話ですね。また、最近では、東京虎ノ門・神谷町エリアの複合施設「東京ワールドゲート」にあるホテルの客室全室に、オーダーメイドでモダンな「格子」状の建具を導入。こうした実績とノウハウ、そして確かな品質が口コミで伝わり、今では全国から問い合わせが寄せられていると言います。

山崎の社訓は「明るく、正しく、そして熱く」。明るい職場で、妥協なくこだわりと情熱をもつものづくりに向き合う。これからも従業員全員でチャレンジする山崎で、あなたの力を発揮してみてください。

■働く人に聞きました



なおき 直樹さん
（平成15年入社）

私が所属する課では、和室向けの襖ふすまや障子、硝子戸を製作しています。山崎は、企画提案、受注、生産、納品取付からアフターフォローまで、全ての過程に取り組む一貫生産体制となっているため、チームワークとともに自分の仕事に責任感を持つことが大事であると思っています。お客様のご要望、アイデアを形にするために、これからもワンチーム山崎で顧客満足勝ち取っていきます。

■うちの会社の強み

その1 木製のスライディングウォールの製作

において先進的企業

その2 創造力を活かした企画提案

その3 若い力を伸ばす

自由な社風

■事業所データ

事業所名	株式会社 山崎
設立	昭和18年
業種	木製建具設計・製造・販売・取付
住所	金屋本江454-1
電話	67-8866

